

流域治水プロジェクト推進を担う施工技術等 ⑦

水中部施工の可視化と海洋環境の改善

- 工事名
大和川築港八幡町地区浚渫工事
- 施工者
東洋建設株式会社
- 施工箇所
浚渫場所：大阪府堺市堺区築港八幡町地先
塵芥処理場所：大阪府岸和田市地蔵浜地先
土砂投入場所：大阪府岸和田市木材町地先
- 発注者
近畿地方整備局 大和川河川事務所

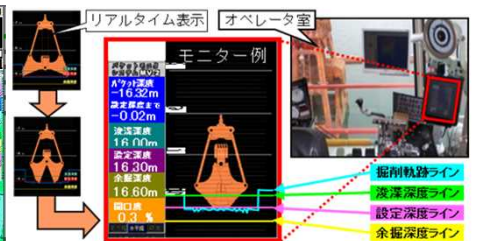
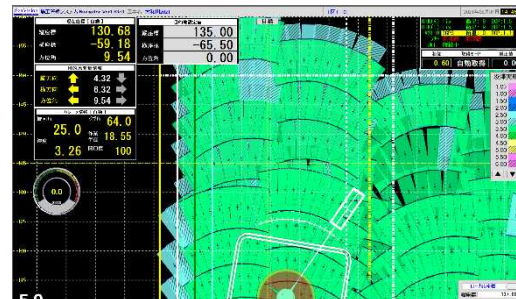


＜工事概要＞

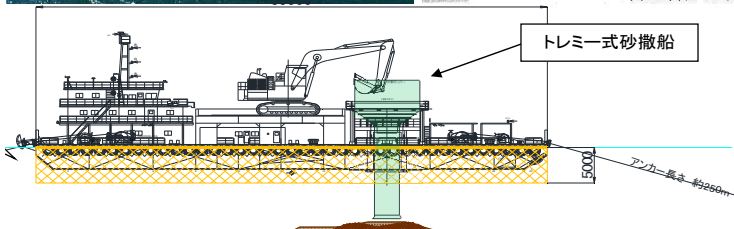
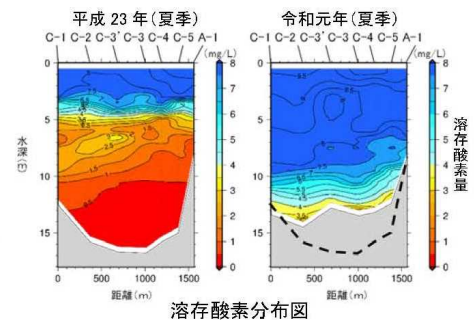
大和川の河口部(堺市築港八幡町地区)において、グラブ浚渫船により浚渫を行い、岸和田市地蔵浜へ海上運搬、塵芥処理をした後、阪南2区窪地に土砂投入及び覆砂を行うものです。

- 大和川の河底を浚渫することで、洪水を安全に流下させる効果を高めます。
また、阪南2区窪地に浚渫土砂を投入することで海洋環境を改善させます。
- ・グラブ浚渫工：26,500m³ ・作業船運転工：26,500m³ ・土砂投入工：26,500m³
 - ・覆砂工：1,600m³ ・塵芥処理工：26,500m³

＜技術の特徴＞



浚渫施工管理システム(掘後の可視化)とバケットモニターシステム(グラブバケットの可視化)を使用することで水中部施工を可視化します。



過去に埋立用材として採取した跡(阪南2区沖窪地)に大和川の浚渫土砂を投入することで貧酸素状態を解消し、海洋環境を改善します。